



熊本県内議会トップ20公開 1位は玉名市議会 荒尾市議会、熊本市議会が続く

「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月15日、2017年度「議会改革度調査」の熊本県内ランキング上位を公開しました。

玉名市は600位以上順位を上げ1位となり、荒尾市、熊本市が続きました。前年度は全国トップ300以内は1議会のみでしたが、3議会が入る結果となりました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼熊本県内の議会ランキングTOP20

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※熊本県内は28議会が回答(回答率61%)

県内順位	議会名	総合順位	総合前年比	県内順位	議会名	総合順位	総合前年比
1	玉名市議会	204	+646	11	菊陽町議会	-	-
2	荒尾市議会	238	+128	12	人吉市議会	-	-
3	熊本市議会	281	-70	13	八代市議会	-	-
4	菊池市議会	-	-	14	合志市議会	-	-
5	上天草市議会	-	-	15	長洲町議会	-	-
6	天草市議会	-	-	16	多良木町議会	-	-
7	大津町議会	-	-	17	南阿蘇村議会	-	-
8	山鹿市議会	-	-	18	和水町議会	-	-
9	熊本県議会	-	-	19	宇土市議会	-	-
10	水俣市議会	-	-	20	宇城市議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・1位【玉名市議会】議会基本条例を制定。議案に対する議員個人の賛否結果や政務活動費の領収書などをネット公開。熊本地震をふまえ議会BCPを策定。市長等の附属機関への議会選出を廃止した。
- ・2位【荒尾市議会】議会基本条例の検証を実施。議会報告会をシティモールと本会議場で開催し125名が参加。アンケート結果と市民意見をネット公開している。
- ・3位【熊本市議会】政務活動費は税理士によるチェック体制がある。専門的知見など外部サポートを活用している。議会図書室は、議員と事務局職員へのレファレンスサービス機能がある。
- ・注目【大津町議会】議会災害時対応基本計画を策定。大学と連携協力協定を締結し、高校生などの意見をふまえ議会だよりをリニューアルした。一般質問に対する行政の対応状況をネット公開。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>